

本文

【白文（訓点付き）】

信乃使三萬人先行、出、①背レ水陳ス。趙軍望見シテ而大イニ笑フ。  
 ……  
 信曰ハク、「此レ在<sub>二</sub>兵法<sub>一</sub>。顧ダ諸君察セ不ル耳。兵法ニ不レ曰ハ、『陷<sub>二</sub>之ヲ於死地<sub>一</sub>而後生き、置<sub>二</sub>之ヲ於亡地<sub>一</sub>而後存ス』ト乎。且ツ信非<sub>二</sub>素ヨリ拊循スル士大夫<sub>一</sub>也。此レ所謂『②市人ヲ驅リテ而戦フ』之ナリ。其ノ勢ヒ非レバ<sub>二</sub>置クニ之ヲ於死地<sub>一</sub>、使メント<sub>下</sub>人人ヲシテ自ラ為<sub>二</sub>戦ハ<sub>上</sub>。今予レバニ之ニ生地<sub>一</sub>、皆走ラン、寧ンゾ尚ホ可<sub>二</sub>得テ而用フ<sub>一</sub>之乎。』ト。諸將皆服シテ曰ハク、「善シ。非<sub>二</sub>臣ノ及ブ所<sub>一</sub>也。』ト。

【書き下し文】

信乃ち三万人をして先行せしめ、出でて、水を背にして陳す。趙軍望み見て大いに笑ふ。

……

信曰はく、「此れ兵法に在り。顧だ諸君察せざるのみ。兵法に曰はずや、『之を死地に陥れて而る後に生き、之を亡地に置きて而る後に存す』と。且つ信、素より士大夫を拊循するを得るに非ざるなり。此れ所謂『市人を驅りて之を戦はしむ』なり。其の勢ひ、之を死地に置きて、人人をして自ら為に戦はしむるに非ずんば、今之に生地を予へば、皆走らん、寧くんぞ尚ほ得て之を用ふべけんや。』と。諸將皆服して曰はく、「善し。臣の及ぶ所に非ざるなり。』と。

## 【語注】

- ・信＝韓信。漢の劉邦に仕えた名将。
- ・陳す（じんす）＝陣を敷く。「陳」は「陣」に同じ。
- ・趙軍＝韓信が攻めた趙（ちょう）の国の軍。
- ・顧（ただ）＝ただ…だけ。「顧（かえ）りみる」ではない。
- ・拊循す（ふじゆんす）＝（兵士を）いたわり手なずける。日頃から訓練し従わせること。
- ・士大夫＝ここでは部下の兵士たち。
- ・市人を驅る＝（訓練もしていない）町の人々をかり集めて戦わせる、にわか仕立ての軍のたとえ。
- ・予ふ（あたふ）＝与える。
- ・寧くんぞ…べけんや＝どうして…できようか、いやできない（反語）。

## 設問

1. 傍線部①「背レ水陳ス」を、すべてひらがなで書き下しなさい。
2. 「陷二之ヲ於死地一而後生き」を書き下し文に直しなさい。
3. 「陷二之ヲ於死地一而後生き、置二之ヲ於亡地一而後存ス」を現代語訳しなさい。
4. 「死地」「亡地」とは、ここではどのような場所を指すか。簡潔に説明しなさい。
5. 韓信が、訓練の行き届いていない自軍をあえて川を背にした「死地」に置いたのはなぜか。本文の内容に即して説明しなさい。
6. 「拊循スル」の意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。
  - ア 厳しく罰すること
  - イ いたわり手なずけ訓練すること
  - ウ 遠ざけて放っておくこと
  - エ 高い位を与えること
7. 傍線部②「市人ヲ驅リテ而戦フ」とは、どのような軍隊のたとえか。説明しなさい。
8. 「今予レバ二之ニ生地一、皆走ラン」を現代語訳しなさい。
9. 「寧ンゾ尚ホ可二得テ而用フ一之乎」について、次の問いに答えなさい。
  - (1) 「寧ンゾ…乎」が表す表現技法（句法）の名称を答えなさい。
  - (2) この句を現代語訳しなさい。
10. 諸将が「善シ。非二臣ノ及ブ所一也」と述べたことから、諸将の韓信に対するどのような気持ちが読み取れるか。簡潔に答えなさい。
11. 「予」「与」「給」のうち、本文の「予ふ」と同じ「あたえる」の意味で用いられる漢字をすべて選びなさい。
12. 「背水の陣」とは、ここからできた故事成語である。その意味を簡潔に説明しなさい。
13. 韓信が陣を敷くのを見て、趙軍はどのような反応をしたか。本文中の語句を用いて答えなさい。
14. 趙軍が傍線部のような反応をしたのはなぜか。当時の一般的な兵法の常識をふまえて説明しなさい。
15. 「兵法ニ不レ曰ハ…乎」の部分について、次の問いに答えなさい。
  - (1) 書き下し文に直しなさい。

○ (2) この句に用いられている「不…乎（や）」の表現技法（句法）の名称を答えなさい。

16. この一文（問3の句）で韓信が説こうとしている戦いの考え方を、十五字以内で答えなさい。

17. 韓信は、自軍の兵士たちをどのような集団だと述べているか。本文中の比喩表現を抜き出して答えなさい。

18. 韓信が「今、兵士たちに生地（逃げ場のある安全な場所）を与えたら、どうなる」と考えていたか、答えなさい。

19. 韓信の説明を聞いた諸将の反応を、本文中の語句を用いて答えなさい。「諸将皆…」に続けて書きなさい。

20. この故事の出典である歴史書の書名と、その著者名を漢字で答えなさい。

21. 「背水の陣」と最も意味の近い四字熟語を次から一つ選び、記号で答えなさい。

○ ア 漁夫之利 イ 四面楚歌 ウ 背水之陣と同じ「決死」の覚悟を表す「破釜沈舟（はふちんしゅう）」 エ 臥薪嘗胆

22. 「背水の陣」を用いた短文を一つ作りなさい。